

オランウータンの暮らす森はどんな森だろう

オランウータンにいつまでも熱帯の森を

オランウータンは、赤道を取り巻く熱帯雨林のボルネオ島とスマトラ島の上に棲んでいます。その森はどんな森なのか、長期に渡りボルネオ、カリマンタンに入り込み、生態調査を続けている鈴木晃先生の生の声と映像等で実態を知るとともに、今後どうしていかねばならぬかを皆さんと一緒に考えていける場にできればと思います。

開催日時： 2019年9月28日（土）午後1時30分～午後4時（午後1時開場）

会場： 成城ホール（砧区民会館）集会室B

世田谷区成城 6-2-1

小田急線「成城学園前駅」下車徒歩4分（地図参照）

主催： （一社）オランウータンと熱帯雨林の会（MOF）

共催： 日本・インドネシア・オランウータン保護調査委員会

参加費： 500円（事前の予約は不要です）

プログラム

第一部：連続講義「類人猿研究と私」

第3回 ウガンダ、タンザニアのチンパンジーの分布と場所による違いの意味

講師：鈴木 晃博士（MOF 理事長）

第2部：ミニ読書会

「オランウータンの不思議社会」（岩波ジュニア新書）をテキストにしてオランウータンの生態を理解し、彼らを育む熱帯雨林の保護について考えて行きたいと思います。テキストは主催者が用意します。

最後にクタイ国立公園におけるオランウータン保護活動と熱帯雨林再生の取り組みの現状を、ご報告したいと思います。

連続講義「類人猿研究と私」 スケジュール（第4回以降は未定）

第1回 類人猿研究の意味（2019年3月3日）

第2回 マレーシアとインドネシアのオランウータンの相違とその意味（2019年6月2日）

第3回 ウガンダ、タンザニアのチンパンジーの分布と場所による違いの意味（今回）

第4回 ブドongoの森のチンパンジーの実態とその意味

第5回 これからの類人猿の保護の展望と今後の方針

お問合先：（一社）オランウータンと熱帯雨林の会 事務局

〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-23 富井ビル2F

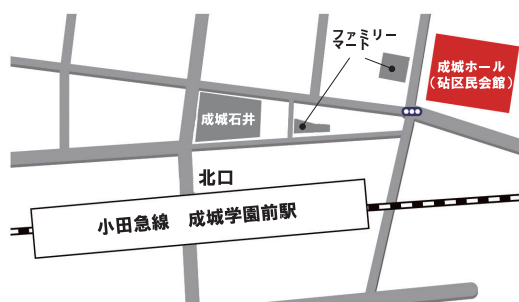
TEL 03-5363-0170 FAX 03-3353-8521 E-Mail: mof.orangutan@gmail.com

MOF ホームページ <http://moforangutan.web.fc2.com>



MOF

成城ホール 案内図



小田急線成城学園前駅北口より徒歩4分

世田谷区成城 6-2-1、電話：03-3482-1313



当会は、地球環境基金・経団連自然保護基金の助成を受けて、オランウータン保護と熱帯雨林再生事業に取り組んでいます。



©AKIRA SUZUKI mof.orangutan@gmail.com